

## 「せとだハートレモン」型枠の開発



～型枠設置時間を大幅短縮～

連携機関 | 農業技術センター, 三原農業協同組合  
研究期間 | 平成24～25年度 [県費研究(探索研究)]

### 技術支援のきっかけ

- ◆ これまで三原農業協同組合では、レモンを型枠に入れて生育させ、ハートレモンを生産していました。しかし、従来型では、型枠組み立て作業が非常に面倒で、樹への取り付けも時間がかかりました。
- ◆ また、出荷できるハートレモンの製品率が50%と低く、型の破損も多いという問題がありました。
- ◆ そこで、これらの課題を解決する型枠の開発を支援しました。

### 技術支援の成果

- ◆ 樹脂成形や金型技術の保有技術を活用して、使いやすく、軽量で強度がある新型枠の開発を行いました。
- ◆ 型枠組み立て作業が不要となり、樹への型枠取り付け時間が1/4に短縮できたことで、生産者に好評です。
- ◆ 製品率が8割に向上し、ハートの形もそろっているため、販売先からも好評で、販売量が増加しています。

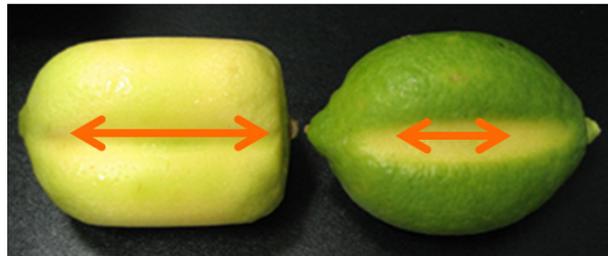


新型枠で生育中の  
ハートレモン



収穫したハートレモン

スライスしたときハート形  
となる部分が大幅アップ



新型枠

従来型枠

### 技術支援の活用場面

- ◆ 開発した型枠は、三原市瀬戸田町のレモン農家でハートレモン生産に活用しています。
- ◆ レモン販売促進の効果が期待できます。